

## 日本学術振興会特別研究員-RPD 申請書チェックリスト

—例年、誤記の多い箇所をリスト化しています。

当チェックリストでセルフチェックを行ってから、庶務係に申請書を提出してください！—

チェック箇所	チェック内容	チェック✓
全ページ- 右下 申請者登録名 全ページ 文字サイズ 全ページ 様式	氏名の入力漏れが無い 10ポイント以上で作成している 昨年の様式を利用していない、様式に予め入力されていた文字等を削除していない	
P1 版数	最新の版数になっている。 ※すでに申請書を「確認完了・提出」し、「OK」ボタンを押している場合は、申請管理画面下部「申請書の確認」から申請書を印刷してください。(未提出であれば第0版) 電子申請システムにアップロードした書類の版数と印刷した書類の版数が合っていないければ、受け付けることができません。	
8 ローマ字表記	姓(大文字)・名(最初の1文字のみ大文字、2文字目から小文字)の順で記載している。	
12 学歴	「1.平成〇(西暦YYYY)年〇月」と和暦・西暦を併記している。 課程名・専攻名に注意して正式名称を記載している。 例) 「大阪大学 文学部 人文学科 卒」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化表現論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院博士前期課程 入学(文学研究科 文化形態論専攻) 修了見込」 「大阪大学 大学院修士課程 入学(文学研究科 文化動態論専攻) 修了見込」	
別紙(該当者のみ)	すでに記載済の履歴を含めて⑫～⑯の事項をすべて入力している。	
P10 (5) 人権の保護及び法令等の遵守への対応	該当しない場合は「該当なし」と記載している。 ※研究倫理審査が必要な研究以外にも、図書館や大学所蔵の古資料を扱う場合は機関ごとのルールへの配慮が必要であったり、資料に個人情報が含まれていればプライバシーへの配慮が必要であったりします。その場合は該当しますので注意してください。	
P11 4. 研究業績	(1)～(6)まで該当の無い項目についても省略せず、項目名を記載している。 通し番号を付している。 ※通し番号は、項目ごとでも、全項目を通してでもかまいません。 申請者本人の氏名にアンダーラインを付している。 発表者氏名の前に〇印を付している。 (1)については査読の有無を記載している。 (3)(4)については口頭発表/ポスター発表の別、査読の有無を記載している。 例) (1)学術雑誌等に発表した論文、著書 (査読あり) ①阪大 花子・大学 好子・大阪 太郎「大阪大学の歴史」、阪大NOW第80号、大阪大学、pp20-25、2016年 (査読なし) ②大阪 太郎「大阪大学の80年史」、大阪大学プロフィール5巻、大阪大学、pp110-121、2017年 (2)学術雑誌又は商業誌における解説、総説 なし (3)国際会議における発表 (口頭発表、査読あり) ③○Taro Osaka・Hanako Handai・Jiro Icho "History of Osaka University", Asia University Conference, Seoul University, March 2017 (4)国内学会・シンポジウム等における発表 (口頭発表、査読なし) ④○Taro Osaka "OU Vision 2016", the 51st meeting of Kansai Universities, Osaka University, May 2017 (5)特許等 なし (6)その他 ⑤大阪大学文学研究科賞(研究科内学業成績優秀者上位5名に授与)、2015年	
出力後	全12P(別紙がある場合は全13P)をA4用紙に両面印刷で、用紙左上をホチキス留めした	